

ウィッグの選び方

医療が進歩しているように、美容も進歩しています。ウィッグも以前と比べて良いものがたくさん出てきました。ご自身の生活スタイルにあわせて、購入のタイミングや種類を選ぶことをお勧めします。

ウィッグを購入する時期は？

お仕事の関係などで、できるだけ今までとイメージを変えたくないと思われる方の場合には、脱毛する前にウィッグメーカーや美容室などで、今の髪型と同じような形のものを選び調整しておくとも良いでしょう。

逆に、治療の期間はお仕事をお休みされたり、自宅にすることが多い方の場合、必ずしもすぐにウィッグが必要ではないかもしれません。髪があるときとない時では、頭の大きさが異なるため、髪のある時に購入しても大きさが合わなく、再調整が必要になるからです。自宅に在る間は、フルウィッグではなく、帽子や帽子に部分ウィッグをつけて過ごされる方法もあります。

どこで買えますか？

• ウィッグメーカー

医療用ウィッグのメーカーの店舗に出向いて相談。抗がん剤治療後の方も多く使用されているので、色々な知恵があります。そのメーカーのものしか扱えない。

• デパート

行きやすいという方が多い。ただ、治療中の対応についての知識やアフターフォローやカット調整については、ウィッグメーカーや美容室よりは多くない？

ウィッグにはどんな種類があるの？

種類	使い方
部分ウィッグ 前髪だけ、 横髪だけ	・毛髪が薄い部分のボリュームアップ ・全体的に毛髪がない場合も、フルウィッグだと暑いので、帽子などに部分ウィッグをつけると楽
全頭ウィッグ (フルウィッグ) すっぽりと頭全体を包むタイプ	頭全体の毛髪がない場合に使用。 毛髪はあるが薄い、カラーリングができないなど、印象を変えるために毛髪があっても使用可能

毛髪の素材にはどんな種類があるの？

人工毛	・セット不要でお手入れが簡単 ・水かぬるま湯で洗う ・襟足などが固くなると元に戻せず不自然 ・光加減や風のなびき方が少し不自然
MIX (人工毛+人毛)	・お手入れは人工毛と同じでラク、セットも不要です。 ・水かぬるま湯で洗う ・二種類の違う種類の毛が混じるので、時間が経つと風合いが変化する(人毛は退色、人工毛は固くなる)
100%人毛	・見た目と手触りが自然 ・自分の髪の毛と同じように手入れが必要 ・退色するので年1~2回カラーリングが必要

• 美容室

どのメーカーのウィッグも相談にのってくれる。特定のウィッグメーカーとの契約をしている所もあるので事前に聞いておくこと。また、ウィッグカットや調整には、美容師さんによっては対応できないことも。

• インターネット

いろいろなものがあり、安価なものが手に入るのも魅力。届くまでに髪に癖がついてしまうことがある。